大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F128210108698	設置等組織名	社会情報科学部【定員増】、環境人間学部（グリーンサイエンス学科【新設】、建築地域デザイン学科【新設】(R8.3.10承認)、食環境栄養学科【新設】）
大学名	兵庫県立大学	設置区分	公立		
学校種	大学	都道府県	兵庫	事業計画名	兵庫県立大学将来構想推進事業

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和6年度	1-① 令和6年8月 新設学科設置に係る検討特別委員会の立ち上げ。 1-② 令和6年8月～7年3月 本学と関係のある企業や公的機関との教育体制や教育内容に関しての調査及び意見交換の実施 1-③ 令和6年8月～7年3月 近隣教育機関との教育内容及び入学者選抜の方針等についての調査及び議論の実施 1-④ 令和6年8月～7年3月 兵庫県立大学社会価値創造機構を活用した学外との交流による人材ニーズの探索 1-⑤ 令和6年10月 兵庫県公民連携プラットフォームへの参画	1-① 令和6年7月 大学・高専機能強化支援事業実施委員会の設置。 1-② 令和6年8月～7年3月 本学と関係のある企業や公的機関との教育体制や教育内容に関しての調査及び意見交換の実施 1-③ 令和6年8月～7年3月 近隣教育機関との教育内容及び入学者選抜の方針等についての調査及び議論の実施 1-④ 令和6年8月～7年3月 兵庫県立大学社会価値創造機構を活用した学外との交流による人材ニーズの探索 1-⑤ 令和6年10月 兵庫県公民連携プラットフォームへの参画	令和6年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	1-⑥ 令和7年4月～12月 地元企業、団体、自治体との包括的連携協定による人材育成に関する連携体制の整備 1-⑦ 令和7年4月～8年3月 新学科新領域における新規スタッフの公募、社会情報科学部における新規スタッフの公募 1-⑧ 令和7年4月～8年3月 入学者の選定基準、修学目標の設定、カリキュラムの作成、定員増による新カリキュラムの検討 1-⑨ 令和7年10月～8年3月 広報用冊子、広報用ムービー、広報用HPの作成 ~~2前-① 令和7年4月～9月 姫路環境人間キャンパス 新学科棟設計等委託~~(R8.3.10承認) ~~2前-② 令和7年4月～9月 神戸商科キャンパスにかかる既存校舎の増・改築設計委託~~(R8.3.10承認) ~~2前-③ 令和7年4月～令和8年3月 姫路環境人間キャンパス グリーンサイエンス・建築棟の新設~~(R8.3.10承認) ~~2前-④ 令和7年4月～令和8年3月 姫路環境人間キャンパス 次世代アグリ実験農場の新設~~(R8.3.10承認) ~~2前-⑤ 令和7年4月～令和8年3月 姫路環境人間キャンパス 動物飼育室・動物実験室の改築~~(R8.3.10承認) ~~2前-⑥ 令和7年4月～令和8年3月 姫路環境人間キャンパス 野生動物実験室・生物多様性実験室の改築~~(R8.3.10承認) ~~2前-⑧ 令和7年4月～令和8年3月 神戸商科キャンパスにかかる既存校舎の増・改築~~(R8.3.10承認)	1-⑥ 令和7年4月～12月 地元企業、団体、自治体との包括的連携協定による人材育成に関する連携体制の整備 1-⑦ 令和7年4月～8年3月 新学科新領域における新規スタッフの公募、社会情報科学部における新規スタッフの公募 1-⑧ 令和7年4月～8年3月 入学者の選定基準、修学目標の設定、カリキュラムの作成、定員増による新カリキュラムの検討 1-⑨ 令和7年10月～8年3月 広報用冊子、広報用ムービー、広報用HPの作成	令和7年度自己評価 【２】計画を十分には実施していない。 関係機関との施設整備にかかる協議に際し、想定以上の時間を要したため、姫路環境人間キャンパス及び神戸商科キャンパスの②－１、②－２の「設計等委託」が令和7年度において実施することが出来なかった。関係機関との調整も含めたスケジュール管理や自己負担分の調達方法において見通しの甘さがあったことから、計画変更申請を行い、令和8年度における計画内容を着実に実施していく。（R8.3.10承認） なお、現時点で作成している施設整備にかかる「基本計画」では、基本設計・実施設計に直接連動するものとしては内容的に不十分との指摘を受けていることから、今後、設計事務所に対し、設計業務に先立つ前提条件の整理として実施する「基本計画策定業務」を委託することを想定している。そのため、R8事業計画書の確認通知を受理後、すみやかに計画変更申請を行い、施設整備を着実に進める予定としている。
令和8年度	1後-⑦ 令和8年4月～10月 新学科新領域における新規スタッフの公募、社会情報科学部における新規スタッフの公募 1後-⑧ 令和8年4月～10月 入学者の選定基準、修学目標の設定、カリキュラムの作成 1後-⑨ 令和8年4月～10月 広報用冊子、広報用ムービー、広報用HPの作成 1後-⑩ 令和8年4月～令和9年3月 オープンキャンパス等による広報、広報用ネット媒体の公開（R8.3.10承認） ~~2 -③ 令和8年4月～令和9年3月 姫路環境人間キャンパス グリーンサイエンス・建築棟の新設~~(R8.3.10承認) ~~2 -④ 令和8年4月～令和9年3月 姫路環境人間キャンパス 次世代アグリ実験農場の新設~~(R8.3.10承認) ~~2 -⑤ 令和8年4月～令和9年3月 姫路環境人間キャンパス 動物飼育室・動物実験室の改築~~(R8.3.10承認) ~~2 -⑥ 令和8年4月～令和9年3月 姫路環境人間キャンパス 野生動物実験室・生物多様性実験室の改築~~(R8.3.10承認) ~~2 -⑦ 令和8年4月～令和9年3月 姫路環境人間キャンパス B棟の改修~~(R8.3.10承認) ~~2 -⑧ 令和8年4月～令和9年3月 神戸商科キャンパスにかかる既存校舎の増改築~~(R8.3.10承認) ~~2 -⑨ 令和8年4月～令和9年3月 オープンキャンパス等による広報、広報用ネット媒体の公開~~(R8.3.10承認) 2-⑩ 令和8年4月～令和9年3月 姫路環境人間キャンパス 新学科棟設計等委託（R8.3.10承認） 2-⑪ 令和8年4月～令和9年3月 神戸商科キャンパス 新校舎設計等委託（R8.3.10承認） 2-⑫ 令和8年4月～令和9年3月 姫路環境人間キャンパス 既存学舎の改修（R8.3.10承認） 2-⑬ 令和8年4月～令和9年3月 神戸商科キャンパス 既存学舎の改修（R8.3.10承認）		令和8年度自己評価 リストから選択してください。
令和9年度	~~2後-⑤ 令和9年4月～令和10年3月 姫路環境人間キャンパス 動物飼育室・動物実験室の改築~~(R8.3.10承認) ~~2後-⑥ 令和9年4月～令和10年3月 姫路環境人間キャンパス 野生動物実験室・生物多様性実験室の改築~~(R8.3.10承認) ~~2後-⑦ 令和9年4月～令和10年3月 姫路環境人間キャンパス B棟の改修~~(R8.3.10承認) 2後-⑫ 令和9年4月～令和10年3月 姫路環境人間キャンパス 既存学舎の改修(R8.3.10承認) 2後-⑭ 令和9年4月～令和10年3月 姫路環境人間キャンパス 新学科棟の新設(R8.3.10承認) 2後-⑮ 令和9年4月～令和10年3月 神戸商科キャンパス 校舎の新設(R8.3.10承認) 3-① 令和9年4月～令和10年3月 講義・演習等の実施 3-② 令和9年4月～令和10年3月 受講環境の整備 3-③ 令和9年4月～令和10年3月 広報用冊子、広報用ムービー、広報用HPの作成		令和9年度自己評価 リストから選択してください。
令和10年度	2後-⑭ 令和10年4月～令和11年3月 姫路環境人間キャンパス 新学科棟の新設(R8.3.10承認) 2後-⑮ 令和10年4月～令和11年3月 神戸商科キャンパス 校舎の新設(R8.3.10承認) 3-① 令和10年4月～令和11年3月 講義・演習等の実施 3-② 令和10年4月～令和11年3月 受講環境の整備 3-③ 令和10年4月～令和11年3月 広報用冊子、広報用ムービー、広報用HPの作成		令和10年度自己評価 リストから選択してください。
令和11年度	3-① 令和11年4月～令和12年3月 講義・演習等の実施 3-② 令和11年4月～令和12年3月 受講環境の整備 3-③ 令和11年4月～令和12年3月 広報用冊子、広報用ムービー、広報用HPの作成		令和11年度自己評価 リストから選択してください。
令和12年度	3-① 令和12年4月～令和13年3月 講義・演習等の実施 3-② 令和12年4月～令和13年3月 受講環境の整備 3-③ 令和12年4月～令和13年3月 広報用冊子、広報用ムービー、広報用HPの作成 3-④ 令和12年4月～令和13年3月 教育・研究成果に関するアンケート調査		令和12年度自己評価 リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価 リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価 リストから選択してください。
令和15年度			令和15年度自己評価 リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和8年4月 環境人間学部 グリーンサイエンス学科 学科の設置届出予定 令和8年4月 環境人間学部 建築地域デザイン学科 学科の設置届出予定(R8.3.10承認) 令和8年4月 環境人間学部 食環境栄養学科 学科の設置届出予定 令和8年4月 社会情報科学部及び国際商経学部 収容定員の変更届出予定(R8.3.10承認)	令和8年4月 環境人間学部 グリーンサイエンス学科 学科の設置届出(R8.4.30届出) 令和8年4月 環境人間学部 建築地域デザイン学科 学科の設置届出(R8.4.30届出) 令和8年4月 環境人間学部 食環境栄養学科 学科の設置届出(R8.4.30届出) 令和8年4月 社会情報科学部及び国際商経学部 収容定員の変更届出(R8.4.30届出)	
定員減又は 学部等の廃止	令和8年4月 国際商経学部 60人減員にかかる届出予定（入学定員360人→300人、経済学関係）(R8.3.10承認) 令和8年4月 環境人間学部環境人間学科 140人減員にかかる届出予定（入学定員205人→65人、社会学関係） 令和9年度 国際商経学部 60人減員予定（入学定員360人→300人、経済学関係） 令和9年度 環境人間学部環境人間学科 140人減員予定（入学定員205人→65人、社会学関係） ~~令和12年4月 環境人間学部環境人間学科 学部改編に伴う学科廃止の届出予定（令和９年度より、人間社会学科、グリーンサイエンス学科、建築学科、食環境栄養学科の4学科体制）~~(R8.3.10承認)	令和8年4月 国際商経学部 60人減員にかかる届出（入学定員360人→300人、経済学関係）(R8.4.30届出) 令和8年4月 環境人間学部環境人間学科 140人減員にかかる届出（入学定員205人→65人、社会学関係）(R8.4.30届出)	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	兵庫県立大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
社会情報科学部１年次に実施する「PBL演習Ⅰ」では、株式会社光洋と連携し、スーパーマーケットの実データを用いた課題解決演習を実施している。また、株式会社マクロミルのQPL（消費者購買履歴データ）を併用し、担当者による関連講義をしていただいている。２年次に実施する「PBL演習Ⅱ」では、株式会社FOOD ＆ LIFE COMPANIESと連携し、回転寿司チェーンの実データを用いた課題解決演習を実施している。2023年度は11社２地方公共団体３大学から外部講師を招へいした。 環境人間学部いずれの学科においても、キャリアパスとしての大学院への進学を大学入学後の早い段階から検討できるようにするため、本学部または研究科修了生の就職先企業（関電不動産など）や地域の自治体（神戸市など）および周辺の研究協力施設（兵庫県立健康科学研究所や地球史研究所など）に訪問、現場での実践活動を体験する特別フィールドワークを展開している。そこでこれらの活動を継続するとともに拡大させ、訪問先との協同によるPBL型の授業を発展させる。 また、企業の研究員、県立の研究機関（農林水産技術総合センターや健康科学研究所）の職員、県庁勤務の管理栄養士などを招き、専門教育講演会を実施する。さらに神戸大学食資源教育研究センターの他、地元のNPO法人等による直接指導により、農作物を育てるフィールドワーク科目を設ける。	社会情報科学部では、今年度も、「PBL演習Ⅰ」ではQPR（消費者購買履歴データ）を併用した、株式会社光洋との連携による課題解決演習を実施し、「PBL演習Ⅱ」では株式会社FOOD ＆ LIFE COMPANIESと連携による課題解決演習を実施した。2025年度は「経営データ概論」「データ分析の最前線」「情報技術の最前線」「情報倫理と法」「人工知能」「基礎演習」の6科目で21社5地方公共団体１大学他から外部講師を招へいした。 環境人間学部においては、本学部または研究科修了生の就職先企業や地域の自治体（姫路市、神戸市など）および周辺の研究協力施設（兵庫県立健康科学研究所や地球史研究所など）を訪問し意見交換を行った。加えて、現場での実践活動を体験するフィールドワークを展開した。学生が企業（プンセン株式会社、株式会社イボキン、株式会社帝国電機製作所など）に現地訪問調査ヒアリングを行い、企業のSDGs達成に向けた取り組みを提案する「環境人間学生が提案する地域企業のSDGsへのアプローチ」発表会（参加者：企業関係者名27名、学生34名、教職員・行政11名）を開催し、学生がプレゼンした。 　また、企業の研究員、県立の研究機関（農林水産技術総合センターなど）の職員、自治体の職員などを招き、専門教育講演会を実施した。兵庫県立健康科学研究所と環境人間学部の合同研究発表会も開催した。さらに神戸大学食資源教育研究センターの他、地元のNPO法人等による直接指導により農作物を育て・活用する特別フィールドワーク科目「農と食育を考える」を設け、田植え、稲刈り、酒づくり、ボトルのラベル作成、地域の伝統野菜などの加工などを実施した。これらの活動を継続・強化して、企業や自治体と連携したPBL型の授業を実施した。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

□ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
□ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
社会情報科学部では県立姫路西高校および三田学園高校と連携協定を締結している。姫路西高校とは国際データサイエンスコンテストを主宰し、三田学園高校とはビジネスアイデアコンテストの出場チーム指導などを行った。また、県立兵庫高校とは調査課題におけるデータ分析や成果発表の指導を行った。さらに、兵庫県立大学附属中学校、附属高校とは講義やプロジェクト学習指導を行った。 環境人間学部いずれの学科も下記項目において同様の取り組みを行う。 C：本学附属中学校におけるプロジェクト学習では２年生に対して２年間、附属高等学校の類型授業では３年生に対して半年間、それぞれ中高教員と大学教員が連携しながら生徒が多様な研究分野に興味や関心を持って学習に取り組む探究活動を実施している。高大連携教育については学部主催の高校生プレゼンフォーラムにて姫路西高等学校を含めた計４校の生徒が発表するなど、近隣地域における高大連携教育の拠点となる活動を展開しつつある。これらの活動を継続かつ発展させ、大学教員が生徒に直接指導するだけでなく大学教員の指導の下で学生が生徒に対して指導する、すなわち教えながら学ぶピア・エデュケーションの環境を構築する計画であり、このような取組を介して広く本学部の教育活動を周知し、近隣校からの受験生の確保を目指す。本学部の学生の約７割が女子であることから、これらの活動によって未だ少ない理系女子の確保が期待される。 d：広く市民を対象とした学習支援活動（生物統計学等の市民講座、最新の研究成果をトピックとしたオープンセミナー、地域での実践活動を視野に入れたワークショップ）を実施し、企業の中堅社員や公務員のリカレント教育の導入を促す。	社会情報科学部では、姫路西高校に対し探求学習の成果発表会での指導を行った。三田学園高校に対しては出張講義を行った。また、県立神戸学園都市高校（旧伊川谷北高校）とは本学において探求学習と成果発表会の指導を行った。さらに、兵庫県立大学附属中学では連携授業およびプロジェクト学習指導、附属高校では連携授業および大学訪問受入れを行った。 環境人間学部では下記項目において取り組みを行った。 　c：本学附属中学校におけるプロジェクト学習では２年生に対して２年間、附属高等学校の類型授業では３年生に対して半年間、それぞれ中高教員と大学教員が連携しながら生徒が多様な研究分野に興味や関心を持って学習に取り組む探究活動を実施した。高大連携教育については学部主催の「高校生プレゼンフォーラム」にて姫路西高等学校を含めた計6校（昨年度比1.2倍増）・106名（1.5倍増）の生徒から29件（1.4倍増）の発表があった。昨年度よりも発表課題、参加高校生数が大きく増加し、近隣地域における高大連携教育の拠点となる活動を展開できた。実施に際しては、発表会前にすべての探求に対して、テーマに近い専門の大学教員が事前の相談・アドバイスを行った。すべての発表に対し、大学教員だけでなく大学生からの質問、コメントを行うなど、これらの活動を継続かつ発展させ、大学教員が生徒に直接指導するだけでなく大学教員の指導の下で学生が生徒に対して指導する、すなわち教えながら学ぶピア・エデュケーションを一部実施した。大学教員による指導のもと、近隣の中高生が大学院生・学部生と連携しながら大学キャンパス内で実験体験する「サイエンス・オープン示ボ」も実施した。近隣の11高校から高校生15名が参加した。継続的に、このような取組を介して広く本学部の教育活動を周知し、近隣校からの受験生の確保を目指した。 　d：広く市民を対象とした学習支援活動（市民講座、最新の研究成果をトピックとしたオープンセミナー、地域での実践活動を視野に入れたワークショップ）を実施した。食と健康の未来を考える「食未来エクステンション講座」では10講座を開催し、これらの参加者数延べ数で807名であった。このような取組みを介して企業の中堅社員や公務員などの受け入れ強化に向けたリカレント教育の導入を促した。	

大学名	兵庫県立大学

１.本事業対象となる学部等の状況

<合計>

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	100	100	100	300															
		編入学定員	人	-	-	-																
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	100	100	100																
		入学者数	人	109	106	101																
		女子学生数	人	27	32	17																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	0	1																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	100	100	100																
		入学者数(B)	人	109	106	101																
		女子学生数	人	27	32	17																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	0	1																
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.09	1.06	1.01																
	収容定員等	収容定員(C)	人	400	400	400																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	423	434	427																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.06	1.09	1.07																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	92	100	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	18	27	24																
		授業科目の単位数	単位	66	76	58																

大学名	兵庫県立大学

本事業対象となる学部等の個数	4

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	既存学部の収容定員の増加
学部学科名	社会情報科学部（工学関係）

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
改組状況				選定		届出	増員															
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	100	100	100	160															
		編入学定員	人	-	-	-																
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	100	100	100																
		入学者数	人	109	106	101																
		女子学生数	人	27	32	17																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	0	1																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	100	100	100																
		入学者数(B)	人	109	106	101																
		女子学生数	人	27	32	17																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	0	1																
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.09	1.06	1.01																
	収容定員等	収容定員(C)	人	400	400	400																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	423	434	427																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.06	1.09	1.07																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	92	100																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	18	27	24																
		授業科目の単位数	単位	66	76	58																

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

大学名	兵庫県立大学

(2)

改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	環境人間学部グリーンサイエンス学科（理学関係）

大区分	小区分	項目	単位	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
改組状況				選定		届出	開設															
事業計画に定める定員		入学定員	人	-	-	-	50															
		編入学定員	人	-	-	-																
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-																
		入学者数(B)	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-																
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	-	-	-																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-																
		授業科目の単位数	単位	-	-	-																

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

大学名	兵庫県立大学

(3)

改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	環境人間学部建築地域デザイン学科（工学関係）

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
改組状況				選定		届出	開設															
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-	-	50															
		編入学定員	人	-	-	-																
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-																
		入学者数(B)	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-																
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	-	-	-																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-																
		授業科目の単位数	単位	-	-	-																

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

大学名	兵庫県立大学

(4)

改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	環境人間学部食環境栄養学科（工学・家政関係）

大区分	小区分	項目	単位	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
改組状況				選定		届出	開設															
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-	-	40															
		編入学定員	人	-	-	-																
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-																
		入学者数(B)	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-																
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	-	-	-																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-																
		授業科目の単位数	単位	-	-	-																

大学名	兵庫県立大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	627	627	627																
		入学者数	人	637	639	643																
		女子学生数	人	165	162	157																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	1	1																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	627	627	627																
		入学者数(B)	人	637	639	643																
		女子学生数	人	165	162	157																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	1	1																
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.02	1.02	1.03																
	収容定員等	収容定員(C)	人	2,508	2,508	2,508																
		編入学定員	人	0	0	0																
		在籍者数(D)	人	2,672	2,695	2,664																
		編入学者数	人	15	15	17																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.07	1.07	1.06																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	583	630																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	213	218	215																
		授業科目の単位数	単位	1278	1309	1286																

大学名	兵庫県立大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1267	1267	1267																
		入学者数	人	1282	1291	1289																
	その他の学期	入学定員	人	30	30	30																
		入学者数	人	42	32																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,297	1,297	1,297																
		入学者数(B)	人	1,324	1,323	1,289																
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.02	1.02	0.99																
	収容定員等	収容定員(C)	人	5188	5188	5188																
		編入学定員	人	0	0	0																
		在籍者数(D)	人	5459	5517	5473																
		編入学者数	人	17	18	20																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.06	1.05																

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	申請	選定												
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 / 千円	1,795,467	2,087,184	2,008,727	2,085,948	2,053,652	2,489,254	3,119,275	2,645,127											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金	千円	2,049,442
本事業による助成金の額(F)	千円	1,415,000
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	2,084,817

特記事項

２．理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況の編入学定員０人とは、若干名を意味している。
３．大学（学士課程）の状況の編入学定員０人とは、若干名を意味している。